

2011 年度 事業報告書

特定非営利活動法人 柔道教育ソリダリティー

1 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 柔道の国際的普及、振興に関する事業	
ア 柔道用具（リサイクル柔道衣・畳）支援事業	
内容	東海大学と国際交流基金・JICA・外務省などの協力を得て世界の柔道発展途上国へ柔道用具（リサイクル柔道衣・畳他）を4カ国1地域、計540着を送付
日時	通年
場所	東海大学
従事者	30人
受益対象者	世界の柔道発展途上国など
イ 柔道文献の翻訳事業	
内容	「姿三四郎」の翻訳準備 ⇒ 2012年6月ごろ翻訳開始希望
日時	通年
場所	日本
従事者	8人
受益対象者	本法人会員及び柔道関係者、一般市民
ウ 教材制作事業	
内容	国際交流基金の助成金を受け、中国語版『初心者用柔道教則本』を制作し、南京及び青島友好柔道館に配布した。
日時	通年（配布は2012年2月）
場所	中国青島市・南京市
従事者	5人
受益対象者	中国の柔道関係者、一般市民
エ 外国からの指導者・選手受入支援事業	
内容	外務省や国際交流基金、東海大学、東海大学望星学塾等と協力して外国人指導者を受け入れる。
	① イスラエル・パレスチナコーチを受け入れ。
	② アフガニスタン女性選手の受入れ。【2012年5月末まで継続事業】
日時	① イスラエル・パレスチナ 2011年11月～12月
	② アフガニスタン 2011年11月～2012年5月
場所	東海大学
従事者	15人
受益対象者	世界の柔道発展途上国及び世界の青少年柔道修行者
オ 外国への指導者派遣事業	
外務省や国際交流基金、東海大学等からの協力を得て柔道指導者（学生ボランティア含む）を海外へ派遣する。	
1) 一般指導者派遣	
内容	① アメリカ・ワシントンへ大川康隆氏指導者派遣
日時	2011年9月6日～23日

場所	アメリカ・ワシントン州 海軍士官学校及び陸軍士官学校
従事者	3人
受益対象者	士官学校柔道部員 約200名
内容	② イスラエル・パレスティナへ村田正夫氏の指導者派遣
日時	2012年3月6日～13日
場所	イスラエル及びパレスティナ
従事者	3人
受益対象者	イスラエル及びパレスティナの柔道指導者及び柔道青少年修行者 約300名
2) 学生ボランティア派遣	
内容	ボランティア学生の椎谷良平氏の派遣
日時	2011年4月30日～5月4日
場所	中国青島市友好柔道館
従事者	2人
受益対象者	中国青島市の柔道関係者
カ 会報誌の発行	
内容	柔道の国際的普及活動等を会員や一般市民に広報するための会報誌を発行した。
日時	■第10号 2011年8月1日発行 ■第11号 2012年3月1日発行
場所	東海大学
従事者	10人
受益対象者	本法人の会員及び柔道関係者、一般市民
キ 講演会事業	
内容	■第10回講演会 井上康生氏 ■第11回講演会 木村清徳氏 寺澤豊志氏 山下泰裕理事長
日時	■第10回講演会 2011年6月5日 ■第11回講演会 2011年12月5日
場所	■第10回講演会 国際文化会館 ■第11回講演会 東海大学校友会館
従事者	合計 250人
受益対象者	本法人会員及び柔道関係者、一般市民
ク 柔道の国際的普及・振興に関する調査事業	
内容	中国で今まで本法人が柔道普及及び振興に携わった事業がどのような形で根付いているか、東海大学体育学部修士課程 穴井亮平さんが現地調査及びアンケート調査し、調査結果(2011年度修士論文)を発表した。
日時	2011年4月30日～5月4日
場所	中国青島市
従事者	2人
受益対象者	国内外の柔道関係者
ケ 国際柔道研究者会 (IAJR) 支援事業	
内容	2011年8月、山下理事長はパリ柔道世界選手権大会期間中に行われた国際柔道研究者会議・シンポジウムに、パネリストとして参加し、元国際柔道連盟会長・松前重義が迎った柔道の国際普及について検証し、その貢献について発表。また、国際柔道研究者会の活動を支援し、世界の柔道研究者のネットワークの構築、若手研究者の育成を図った。
日時	2011年8月22日～8月29日

場所	フランス・パリ市
従事者	1人
受益対象者	世界の柔道関係者など約200人

②柔道を通じての文化交流、異文化理解の推進事業

ア 中国・日中友好支援事業

内容	日中友好青島柔道館の指導者と子供たちを受入れ、東海大学望星学塾、濱名道場、神奈川県秦野市立大根小学校3年生との交流を支援をした。
日時	2012年1月30日～2月6日
場所	神奈川県秦野市・平塚市・東京都など
従事者	20人
受益対象者	青島市柔道協会を中心とした柔道関係者、及び柔道修行者

イ 日露友好支援事業

内容	ロシア女子コーチ2名の受け入れをし、柔道の指導法や日本語の習得を支援した。 【2012年5月末まで継続事業】
日時	2011年12月～2012年5月末
場所	東海大学・講道館・町柔道場など
従事者	10人
受益対象者	ロシア女性コーチ2名

ウ 海外柔道普及支援事業

・内容	教材資料の配布など
日時	通年
場所	東海大学
従事者	2人
受益対象者	中国・ロシア以外の柔道関係者及び柔道青少年指導者

エ 留学生柔道体験

内容	2011年度は実施せず
----	-------------

③ 柔道による青少年育成事業

ア 柔道教室(国内外)

内容	東海大学望星学塾と、少年少女柔道教室を共催した。 ① International Goodwill Week (松前柔道塾国際親善週間) でグアムからの留学生のための研修プログラムを共催した。 ② 塾友杯柔道大会を共催した。 ③ 望星旗柔道大会を共催した。 ④ 復興支援として 宮城県石巻市柔道教室を主催した。
日時	① 2011年12月 ②2011年12月4日 ③ 2011年10月23日 ④ 2011年11月5日
場所	東海大学・望星学塾及び町道場、宮城県石巻市
従事者	20人
受益対象者	青少年(国内外)及び柔道修行者 600人

イ 柔道シンポジウム(国際交流+講演会活動を含む)

内容	山下理事長を日中友好青島柔道館4周年記念講演会に派遣した
日時	2011年12月16日

場所	中国・青島市
従事者	2人
受益対象者	青島市の柔道関係者及び柔道修業青少年 250人